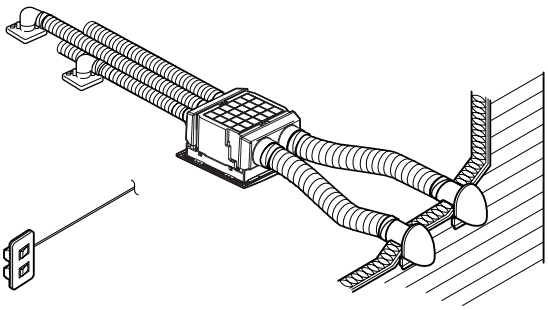
施工業者様用

Panasonic

工事説明書
Q-hiセントラル換気ユニット

品番 FY-C24R FY-C20R



・この工事説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。

入っているか、確認してください！

お願い この製品専用の付属品あるいは指定のもの（別売品）以外は使用しないでください。

■Q-hiセントラル換気ユニット（付属品）

- ねじ（野縁取り付け用）φ4×30L ……8個
- ねじ（吊り金具取り付け用）φ4×10L……4個
- ねじ（アダプター固定用）φ4×12L……2個
- ねじ（ルーバー用）φ4×55L……4個
- スペーサー ……各4個
  （25.5mm、28.5mm、41.0mm）
- ルーバー（排気フィルターセット）……1個
- 品番シール ……1個
- 24時間換気シール ……1個
- 取扱説明書 ……1冊
  （必ずお客様にお渡しください。）

取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

もくじ

安全上のご注意……2～4
Q-hiセントラル換気ユニットの名前と寸法 ……5
システム設置例……6～8
推奨部材 ……9
施工方法……10～20
試運転……21

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれが ある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
（下記は、絵表示の一例です。）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠警告

■仕様変更・改造は絶対にしない

分解禁止

火災・感電・けがの原因となります。

■交流100ボルト以外で使用しない

禁止

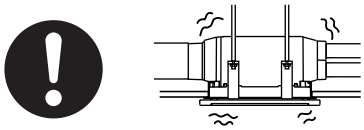
火災・感電の原因となります。

■メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造造営物に金属製ダクトを貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触しないように取り付ける

漏電した場合、火災の原因となります。

⚠注意

■本体は、十分強度のあるところにしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する



落下により、けがをするおそれがあります。

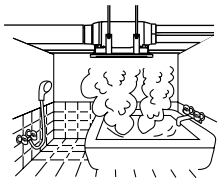
■炎があたるおそれのある場所には取り付けない

禁止

プラスチック部品が変形したり、着火して火災となるおそれがあります。

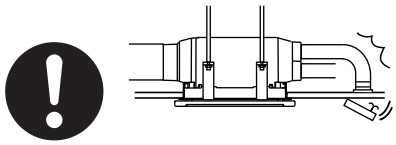
■浴室など、湿気の多いところに取り付けない

水場使用禁止



感電や故障の原因となります。

■部品は確実に取り付ける



落下により、けがをするおそれがあります。

■配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って、確実におこなう

誤った配線工事は、漏電、感電や火災のおそれがあります。

■本体は指定の方法で確実に取り付ける

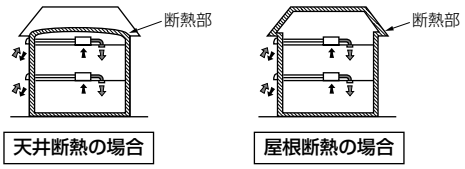
落下により、けがをするおそれがあります。

安全上のご注意（続き）

お願い

■チューブも含めて、必ず断熱空間内に設置してください。

断熱空間外に設置した場合、結露するおそれがあります。
また、グリルから夏は温風や熱気が、冬は冷気が吹き出すことがあります。
断熱空間外に設置する場合は、断熱材料でおおってください。



■9ページ記載の推奨部材を必ずお使いください。

製品仕様の換気量が確保できないことや結露することがあります。

■高温(40℃以上)になる場所に取り付けないでください。

製品の変形やモーターの寿命を縮める原因となります。

■ダクトは必ず屋外側に下り勾配をとってください。

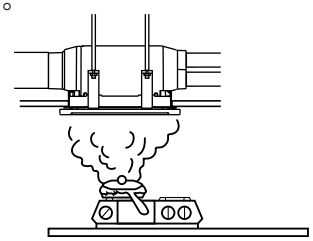
勾配をとらないと、雨水が屋内側に流れます。

■寒冷地（最低気温－5℃以下）には取り付けないでください。

結露の原因となります。

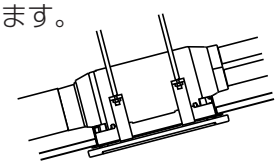
■台所など油煙の発生する場所に取り付けないでください。

ルーバーなどの破損の原因となります。



■傾斜のある天井面には取り付けないでください。

モーター故障や異音発生などの原因となります。

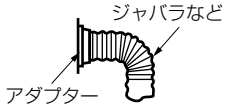


■次のような配管工事はしないでください。

風量低下の原因となります。

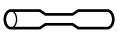
(1)極端な曲げ

(2)吐出口のすぐそばでの曲げ



(3)多数回の曲げ

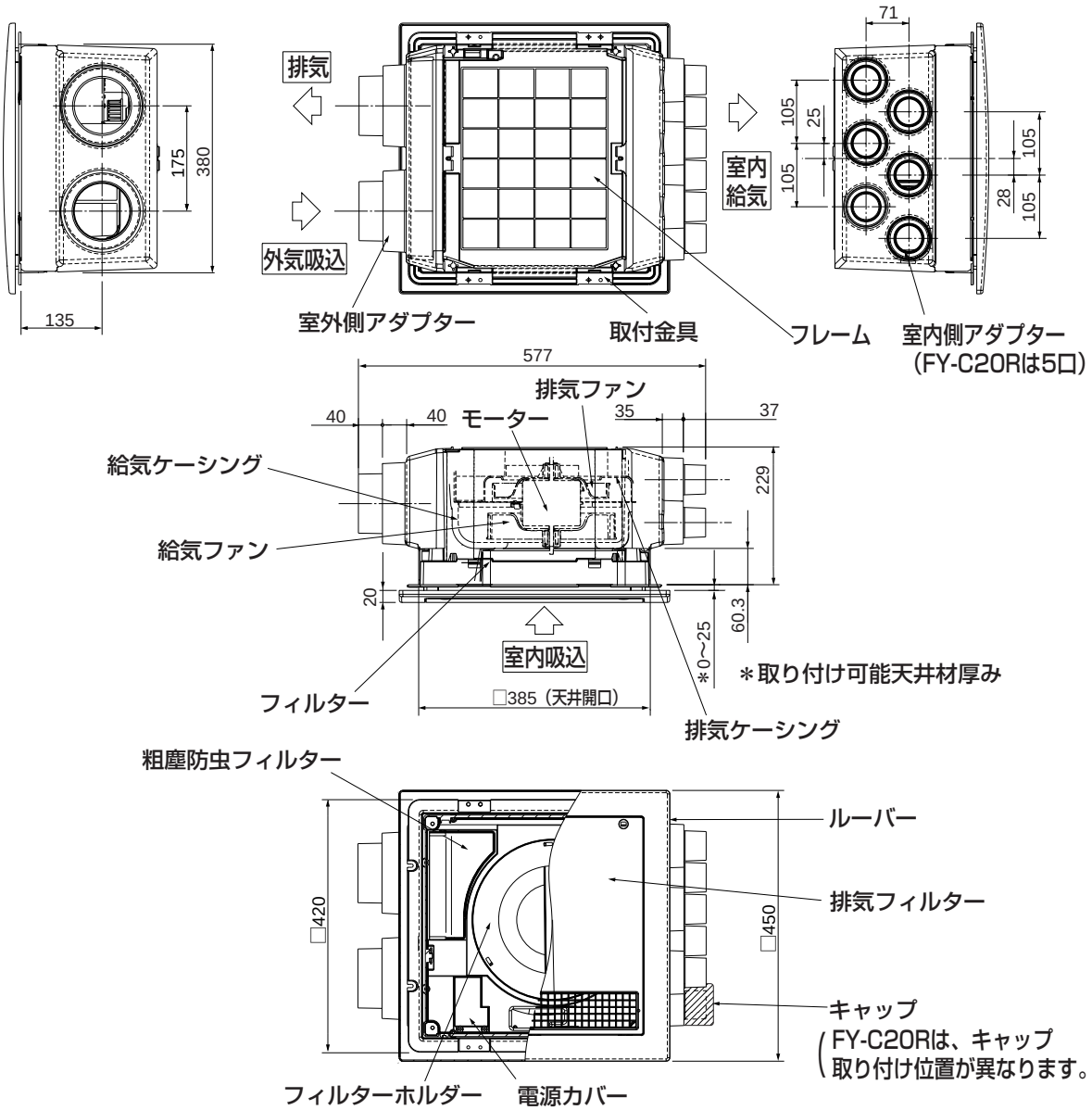
(4)接続ダクト径を小さくする。



Q-hiセントラル換気ユニットの名前と寸法

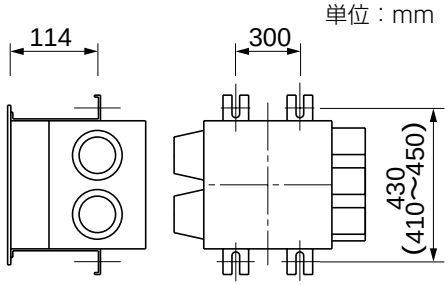
単位：mm

■Q-hiセントラル換気ユニット（付属品取り付け後）

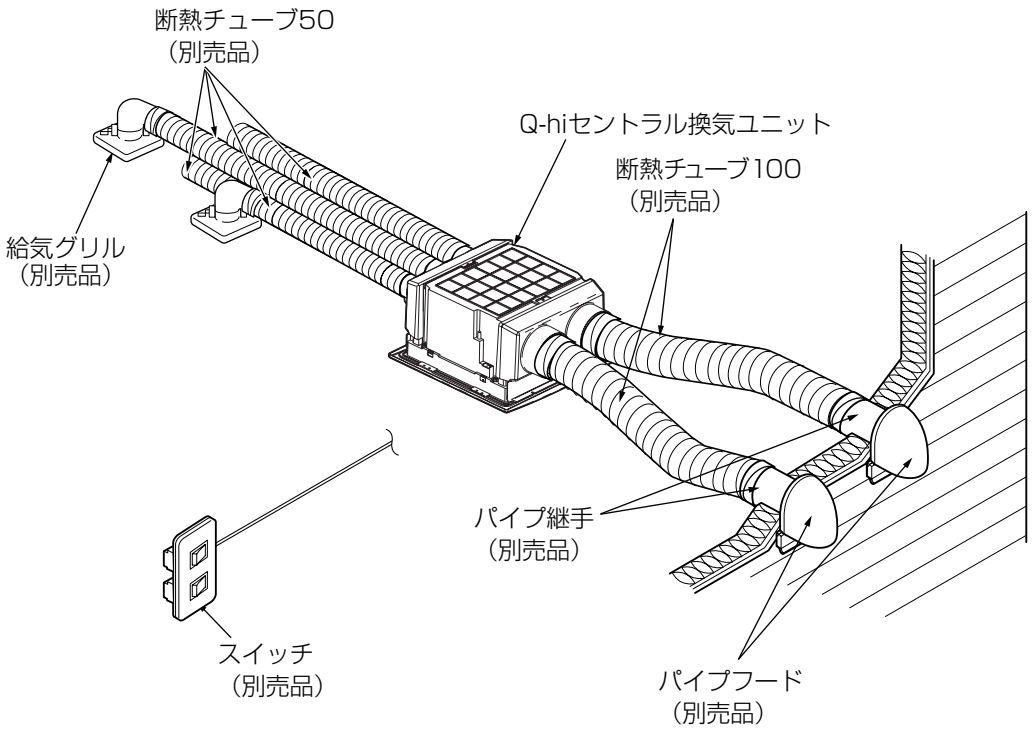


（吊りボルト利用の場合）

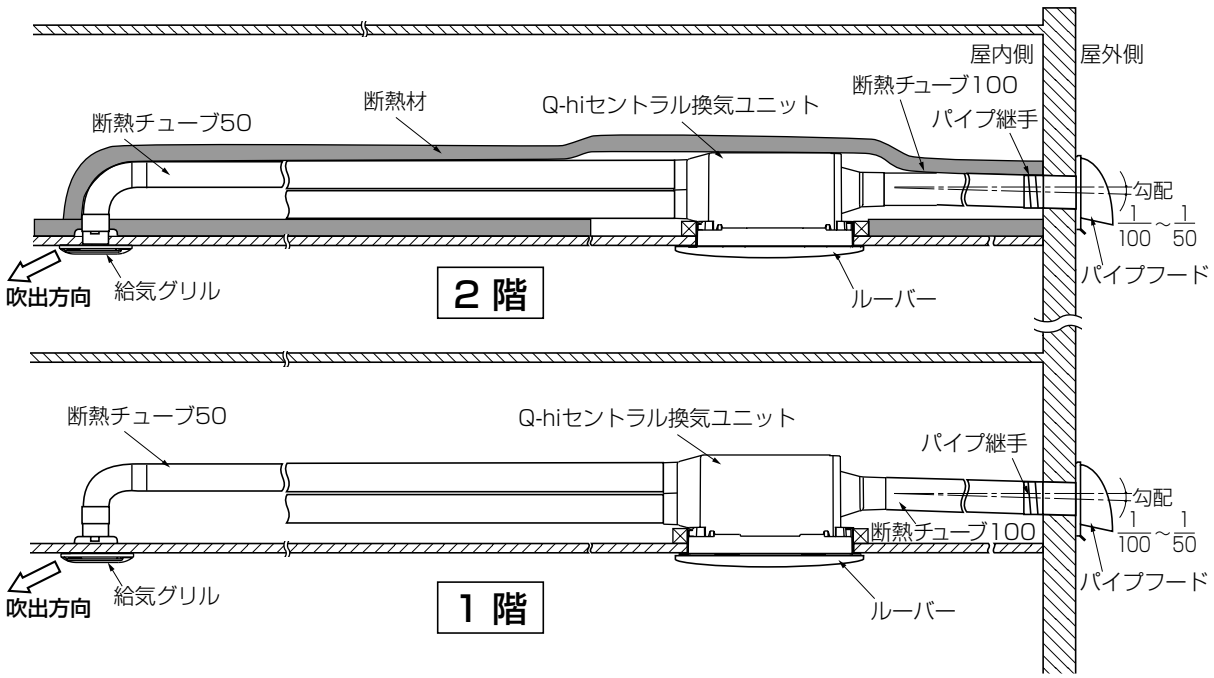
単位：mm



システム設置例（5口システム（1フロア）の場合）



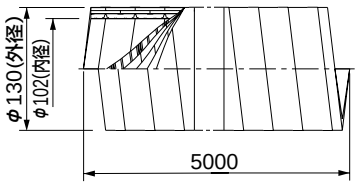
■2階建　天井断熱の場合



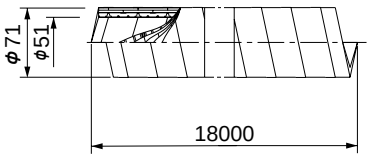
5口システム（1フロア）一覧表

品　　名		品　　番	内容	梱包数
Q-hiセントラル換気ユニット		FY-C24R		1
別売品	断熱チューブ100	FY-KXH405	φ100×5m ……1本	1
	断熱チューブ50	FY-KXH218	φ50×18m ……1本	2
	給気グリル	FY-GPP02-W	φ50用　色：ホワイト、ライトブラウン	5
	パイプフード	FY-MFA04		2
	パイプ継手	FY-PIT04		2
	ソフトテープ	FY-RHS01	10m	1
	スイッチ	FY-SV11		1

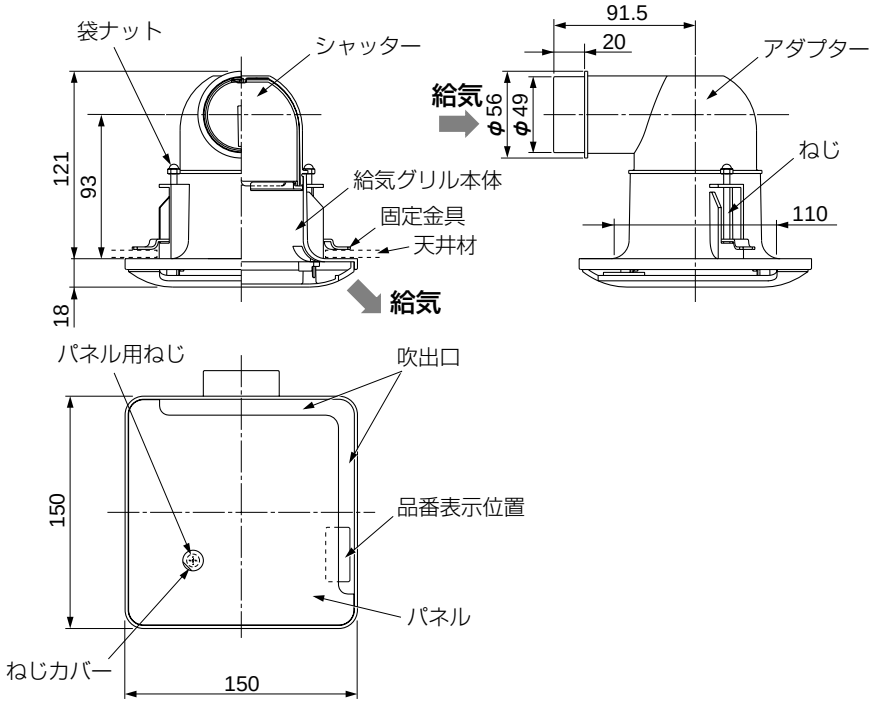
■断熱チューブ100
FY-KXH405



■断熱チューブ50
FY-KXH218



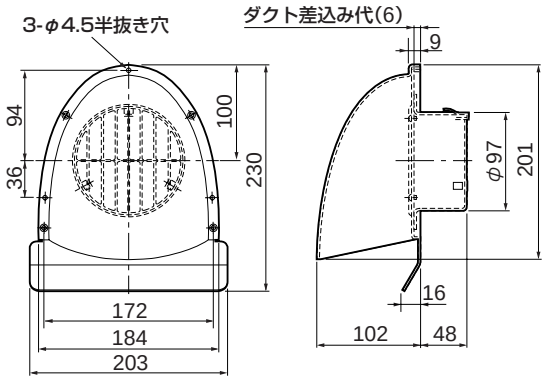
■給気グリル
FY-GPP02-W（ホワイト）



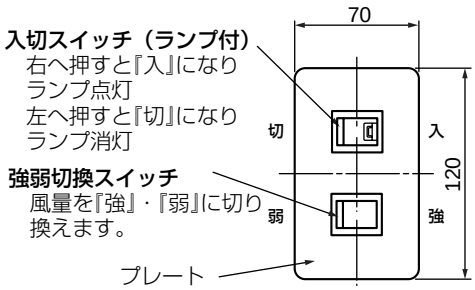
システム設置例（続き）

単位：mm

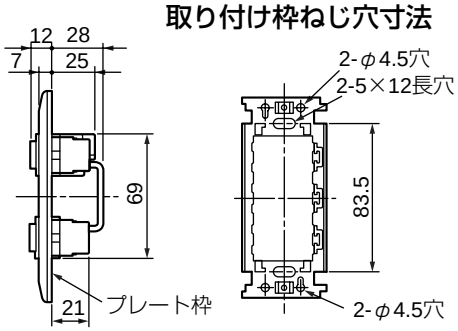
■パイプフード
FY-MFA04



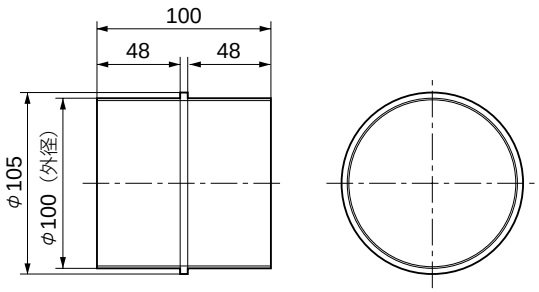
■スイッチ
FY-SV11



取り付け枠ねじ穴寸法



■パイプ継手
FY-PIT04



■ソフトテープ
FY-RHS01
50巾×2t×10m

推奨部材

	品　　名	品　　番	内容
別売品	断熱チューブ100	FY-KXH405	φ100×5m ……1本
	断熱チューブ100	FY-KXH406	φ100×6m ……1本
	断熱チューブ100	FY-KXH408	φ100×8m ……1本
	断熱チューブ100	FY-KXH412	φ100×12m……1本
	断熱チューブ100	FY-KXH425	φ100×25m……1本
	断熱チューブ50	FY-KXH210	φ50×10m ……1本
	断熱チューブ50	FY-KXH218	φ50×18m ……1本
	断熱チューブ50	FY-KXH222	φ50×22m ……1本
	断熱チューブ50	FY-KXH230	φ50×30m ……1本
	給気グリル	FY-GPP02-W	φ50用　色：ホワイト
	給気グリル	FY-GPP02-T	φ50用　色：ライトブラウン
	パイプフード	FY-MCA042	φ100用　丸形　アルミニウム　無着色
	パイプフード	FY-MCA042-K	φ100用　丸形　アルミニウム　黒色
	パイプフード	FY-MCX042	φ100用　丸形　ステンレス　シルバー色
	パイプフード	FY-MCX042-K	φ100用　丸形　ステンレス　黒色
	パイプフード	FY-MFA04	φ100用　深形　アルミニウム　無着色
	パイプフード	FY-MFA04-K	φ100用　深形　アルミニウム　黒色
	パイプフード	FY-MFX041	φ100用　深形　ステンレス　シルバー色
	継手	FY-PMP02	φ50用　　樹脂製
	継手	FY-PIT04	φ100用　樹脂製
	パイプ継手	FY-ST02	φ50用　　鋼板製
	パイプ継手	FY-ST04	φ100用　鋼板製
	ソフトテープ	FY-RHS01	10m
	吊金具	FY-KB071	鋼板製　防振ゴム付　1セット2個入り
	吊金具	FY-KB081	ステンレス製　防振ゴム付　1セット2個入り
	スイッチ	FY-SV11	
	スイッチ	FY-SV11W	ワイド21
	給気清浄フィルター	FY-FB24A	取替用

施工方法 以下の手順に従って施工してください。

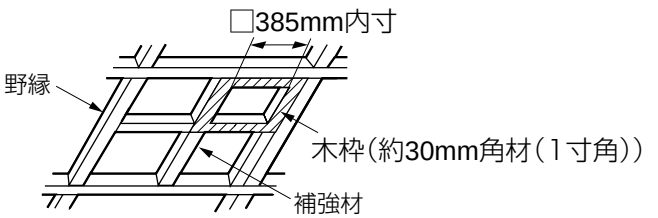
■Q-hiセントラル換気ユニットの取り付け

1-a　本体枠の取り付けと電源の接続（野縁利用の場合）

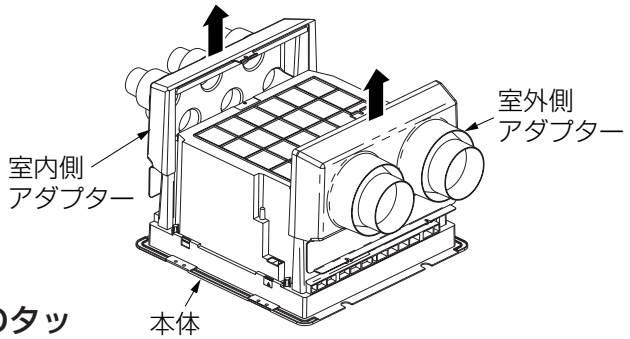
①木枠を作り、野縁に取り付ける。

■木枠には補強材を設けるなど十分に強度を持たせてください。

品名	重量(Kg)
FY-C24R	8.5
FY-C20R	7.8

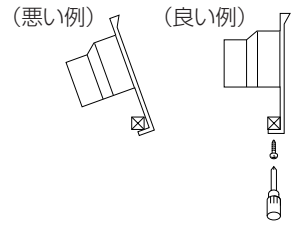


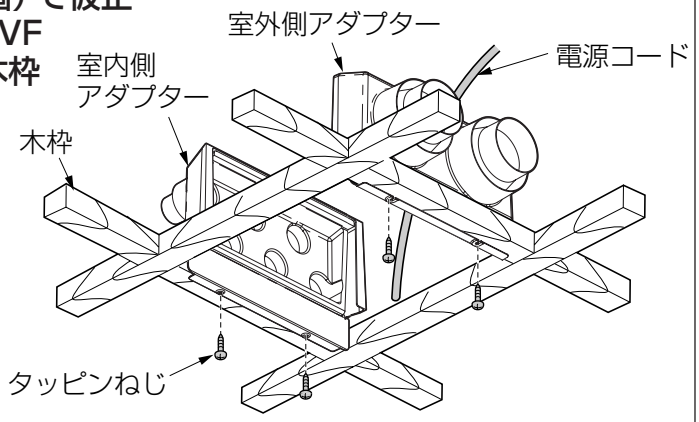
②アダプターを本体より、はずす。



③アダプターを木枠に合わせて付属のタッピンねじ（野縁取り付け用　4個）で仮止めし、電源コード（市販品：VVFケーブルφ1.6またはφ2）を木枠内に引き込む。

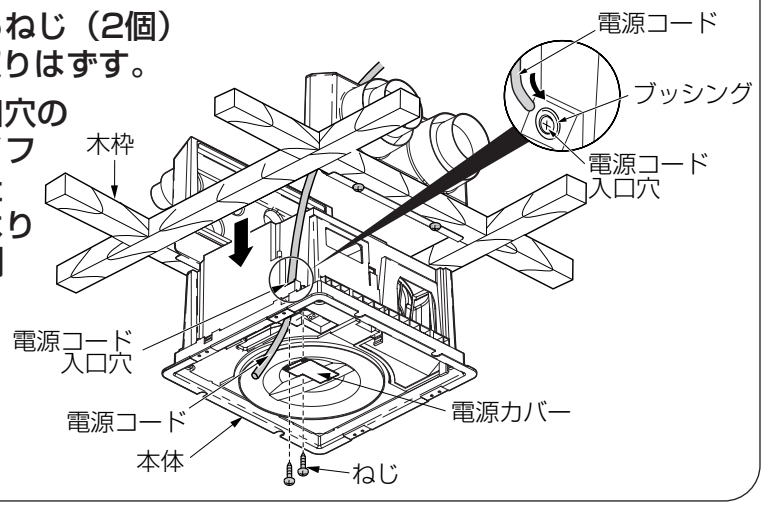
■傾いて取り付けないようにしてください。



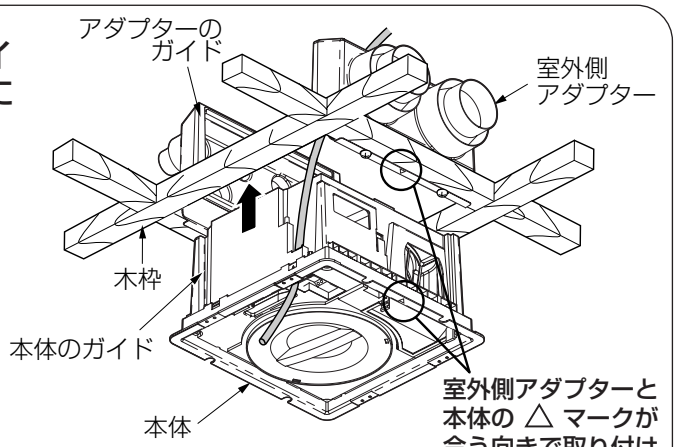


④電源カバーを固定しているねじ（2個）をはずし、電源カバーを取りはずす。

⑤本体側面の電源コード入口穴のブッシングをカッターナイフで十字に切り込みを入れたあと、電源コード入口穴より電源コードを入れ、室内側へ引き出す。



⑥本体のガイドをアダプターのガイドに確実に挿入し、本体を木枠に挿入する。

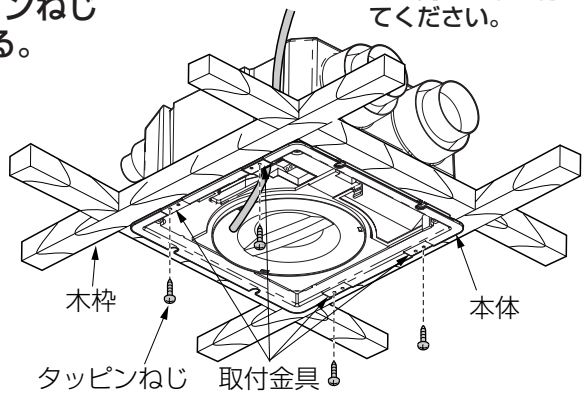


⑦本体枠の取付金具の穴に付属のタッピンねじ（野縁取り付け用 4個）で取り付ける。

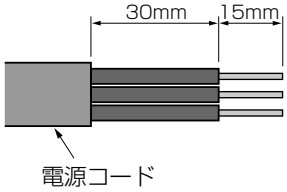
■本体枠の取り付けはすきまのないように、確実に取り付けてください。風漏れの原因になります。

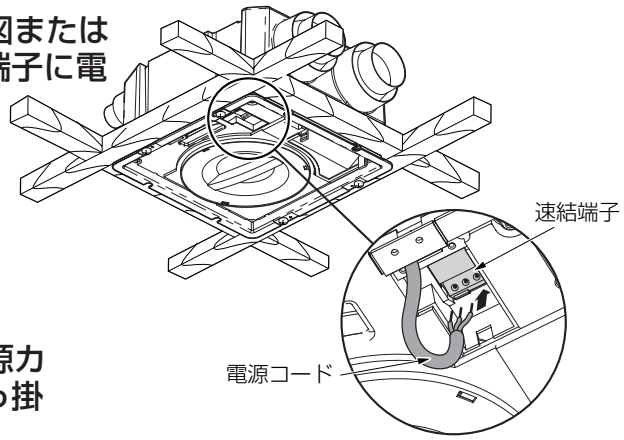
■取り付けの際、本体枠の破損などがないように注意してください。

⑧仮止めしていたアダプターのタッピンねじ（4個）を締め付ける。

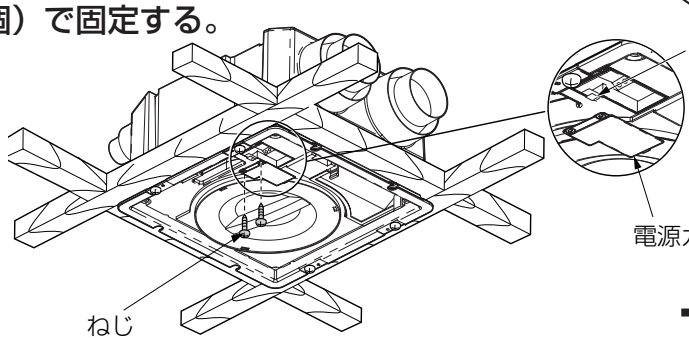


⑨電源コードの先端を加工し、結線図または電源カバーの結線に従って、速結端子に電源コードの心線が止まるまで差し込む。





⑩電源コードを押し込んだあと、電源カバーを電源カバー取付用ツメに引っ掛け、ねじ（2個）で固定する。



→ 2 へ

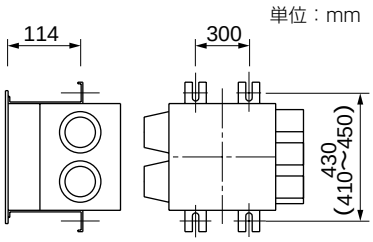
施工方法（続き）

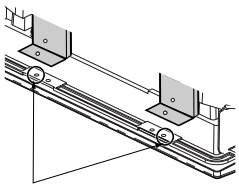
1-b　本体枠の取り付けと電源の接続（吊りボルト利用の場合）

①本体付属のアダプター固定用ねじ（2個）でアダプターを本体に固定する。

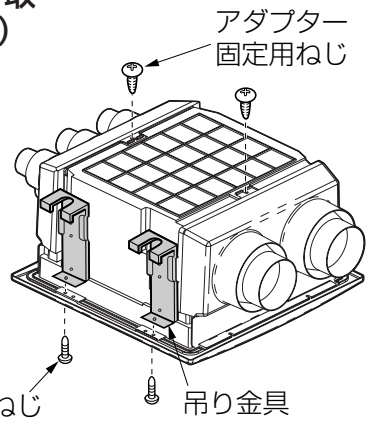
②吊り金具（FY-KB071またはFY-KB081 別売品）2セットを本体に付属の吊り金具取り付け用ねじで取り付ける。（吊り金具に付属のねじは使用しません）

■吊り金具取付位置



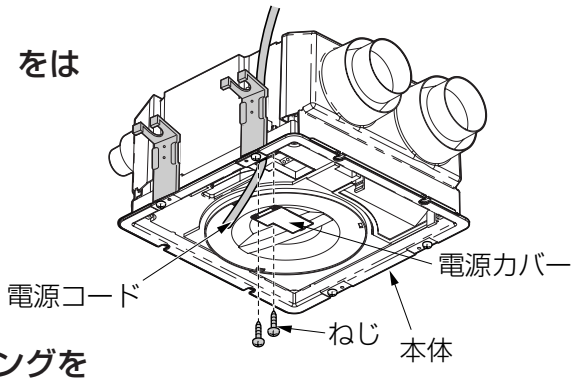


吊り金具の取り付けには、金具の外側の穴を使用してください。

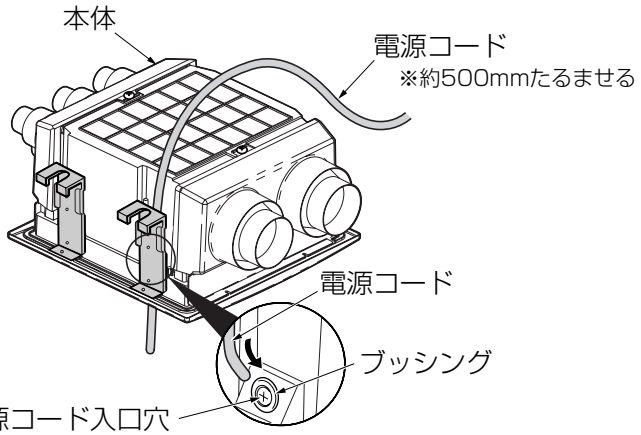


（本体に付属のもの）（φ4×10L）

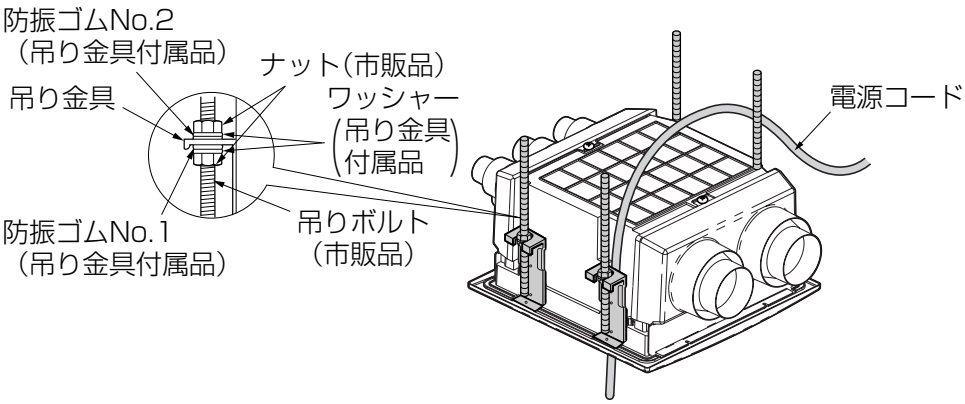
③電源カバーを固定しているねじ（2個）をはずし、電源カバーを取りはずす。



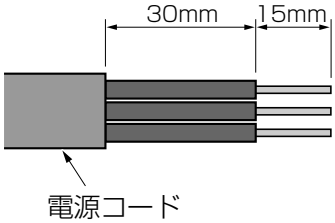
④本体側面の電源コード入口穴のブッシングをカッターナイフで十字に切り込みを入れたあと、電源コード入口穴より電源コードを入れ、室内側へ引き出す。

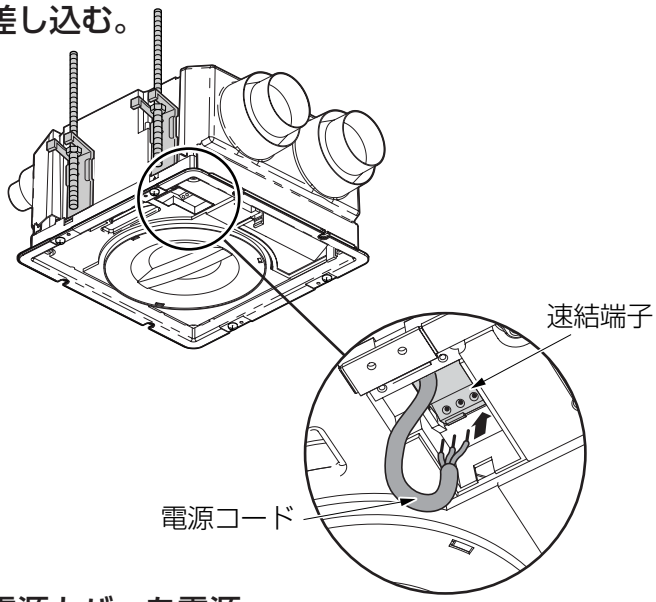


⑤吊り金具を吊りボルト（M8～M10）に取り付ける。

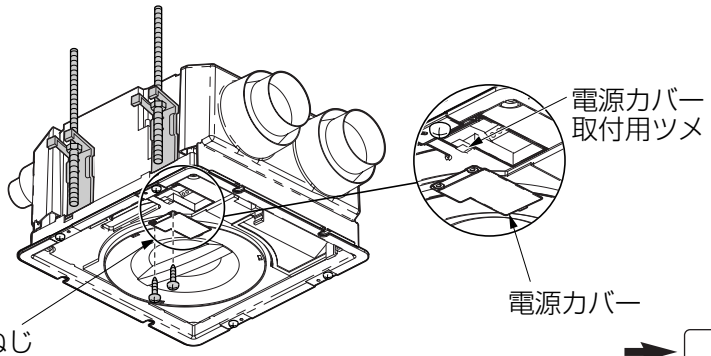


⑥電源コードの先端を加工し、結線図または電源カバーの結線に従って、速結端子に電源コードの心線が止まるまで差し込む。





⑦電源コードを押し込んだあと、電源カバーを電源カバー取付用ツメに引っ掛け、ねじ（2個）で固定する。

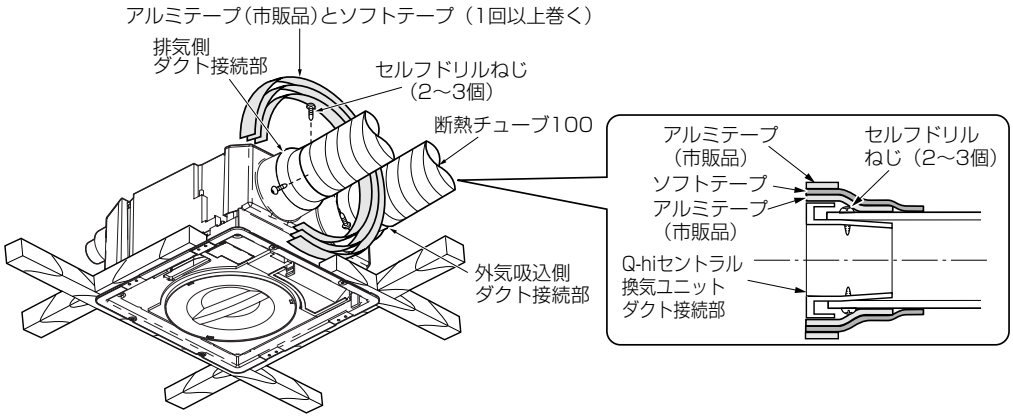


→ 2 へ

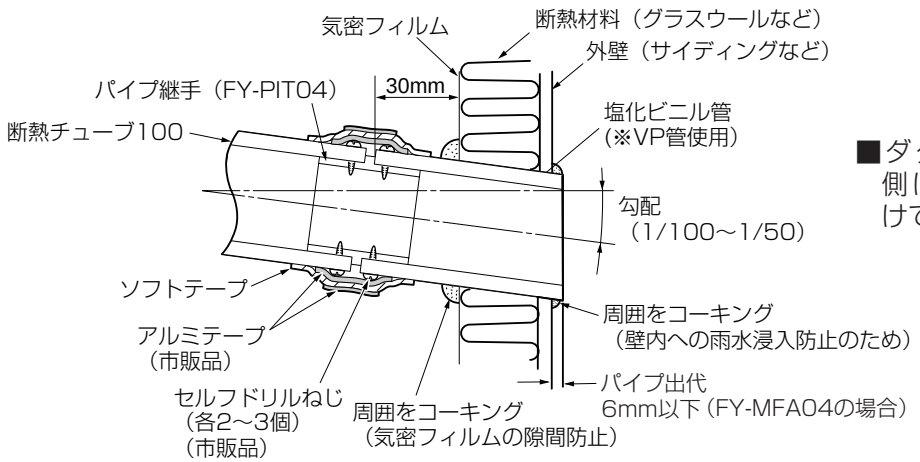
施工方法（続き）

2　ダクトの接続と天井板の取り付け

①断熱チューブ100を適切な長さに切断し、Q-hiセントラル換気ユニットの室外側アダプターのダクト接続部に差し込む。
②セルフドリルねじ（市販品）で固定する。
③アルミテープ（市販品）とソフトテープを巻いて断熱する。外気吸込側ダクト接続部のソフトテープは結露を防止するため、ダクト接続部の付け根から多めに（1回以上）巻く。ソフトテープがはがれるのを防ぐため、アルミテープをもう1回巻く。



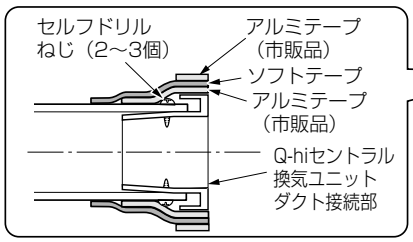
④外壁面には塩化ビニル管（市販品）を設置し、パイプ継手で断熱チューブ100と接続する。
⑤セルフドリルねじ（市販品）で固定し、アルミテープ（市販品）とソフトテープを巻いて断熱する。ソフトテープがはがれるのを防ぐため、アルミテープをもう1回巻く。
⑥壁面とテープ部分にスプレー式断熱材などを施す。

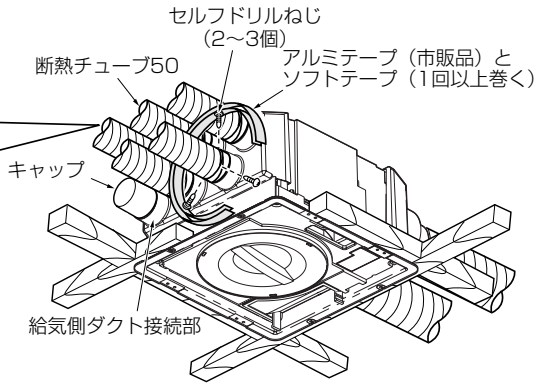


■ダクトは必ず屋外側に下り勾配を設けてください。

※VU管を使用する場合はパイプ継手に1.5周ソフトテープを巻いてからVU管に差し込む。

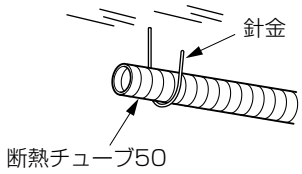
⑦断熱チューブ50を適切な長さに切断し、Q-hiセントラル換気ユニットの室内側アダプターのダクト接続部にすき間なく先端まで差し込む。
⑧セルフドリルねじ（市販品）で固定し、アルミテープ（市販品）とソフトテープを巻いて断熱する。ソフトテープは結露を防止するため、給気側ダクト接続部の付け根から多めに（1回以上）巻く。ソフトテープがはがれるのを防ぐため、アルミテープをもう1回巻く。



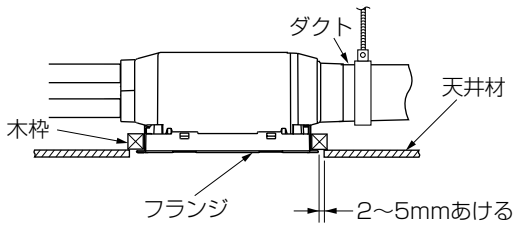


●使用しないアダプターは、キャップをアルミテープで巻いて固定してください。

※断熱チューブは、各部屋まで配管したあと針金で吊り下げて仮固定してください。
（野縁施行後チューブを配管する場合はころがし配管ができるので、チューブを吊り下げる必要はありません。）



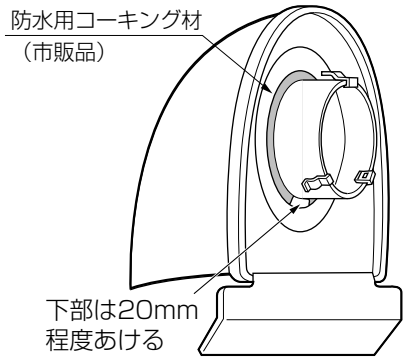
⑨天井板をフランジと2〜5mmのすき間を設けて貼り付ける。
■すき間がないと製品のメンテナンスができません。

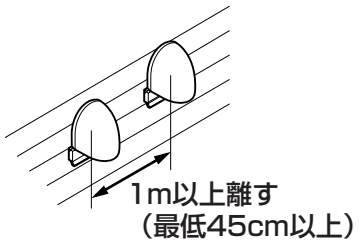


施工方法（続き）

■パイプフード（別売品）の取り付け

①パイプフードを取り付ける前にコーキング材（市販品）を施す。

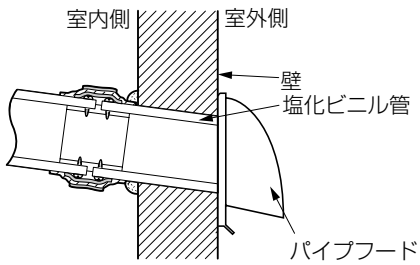




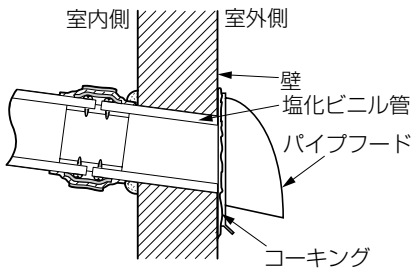
お願い

※パイプフード間の中心距離は、1m程度離して取り付けることをお勧めします。
（最低45cm以上離してください。）

②パイプフードの開口部が下になるように、壁に設置しておいた塩化ビニル管にパイプフードを差し込む。



③パイプフードと壁面のすき間および全周に雨水浸入防止のために、コーキング材（市販品）を施す。

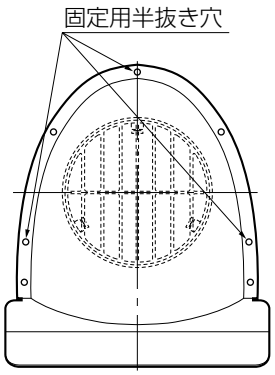


■固定用半抜き穴を使用した場合の施工方法

①フード部の固定用半抜き穴をプラスドライバーなどの工具を使って抜く。

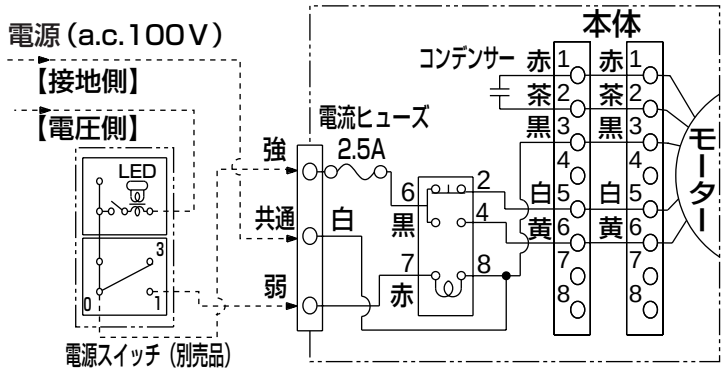
②パイプフードを仮固定して市販のAYプラグボルト（パナソニック(株)製）を固定する位置をマーキングする。

③パイプフードをはずしAYプラグボルト3個を固定しパイプフードを取り付けコーキング材を施す。



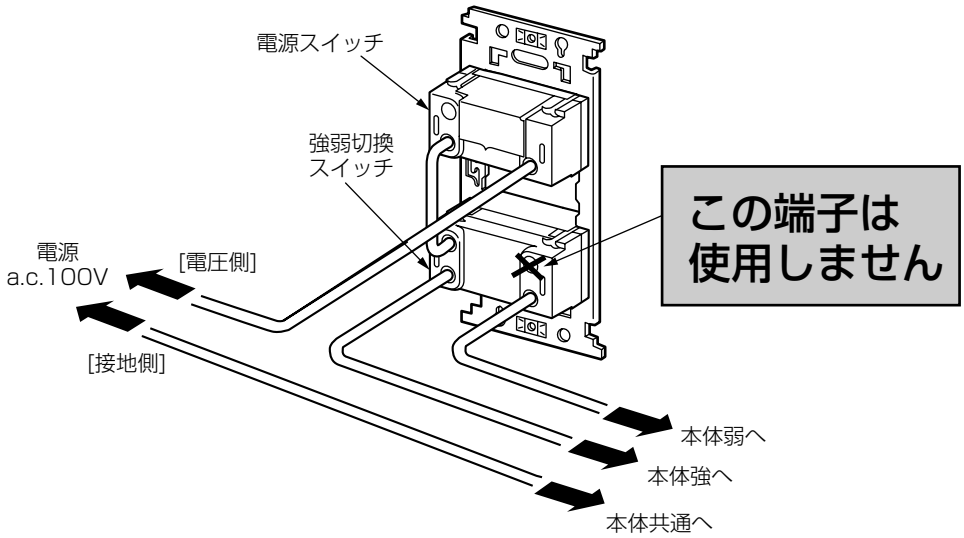
3　Q-hiセントラル換気ユニットとスイッチの結線

結線図に従って正しく結線する。



お願い

※Q-hiセントラル換気ユニットの結線は、VVFケーブル（3心）をご使用ください。
※結線は、「共通」、「強」、「弱」を確認の上、正しく結線してください。
　結線を誤りますと、モーターが過熱し、故障の原因となります。
※結線終了後、電源を入れる前に再度、結線が間違っていないか確認してください。

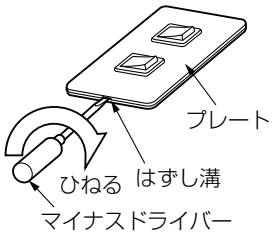


施工方法（続き）

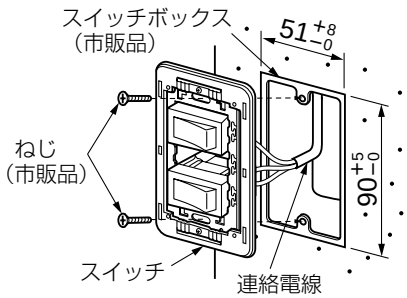
4　スイッチの取り付け（FY-SV11の場合）

■スイッチボックス（市販品）を使用する場合
（事前にスイッチボックスを設置しておいてください。）

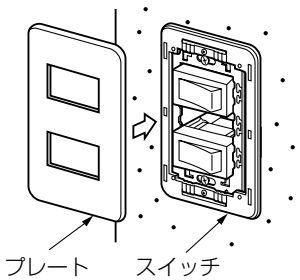
①マイナスドライバーなどを使用してプレートをはずす。
（プレート表面に傷をつけないように気をつけてください。）



②結線図の通りに結線して、ねじ（市販品）2個でスイッチボックスに取り付ける。

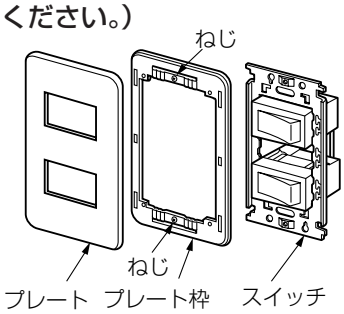


③プレートをはめ込む。
（プレートの上下を間違えないように確認してください。）

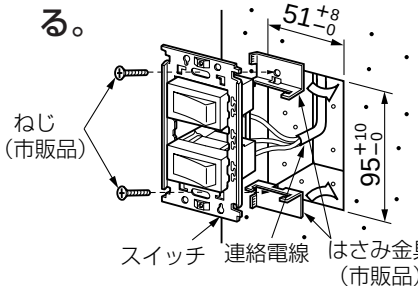


■スイッチボックス（市販品）を使用しない場合

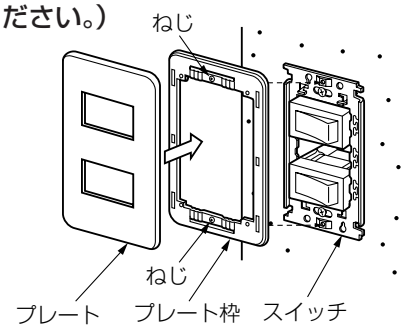
①スイッチボックス（市販品）を使用する場合と同様にプレートをはずし、ねじをゆるめてプレート枠をはずす。
（プレート表面に傷をつけないように気をつけてください。）



②結線図の通りに結線して、はさみ金具（市販品）を使用して壁に取り付ける。

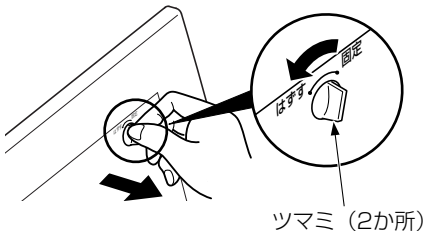


③プレート枠をねじでスイッチに取り付け、プレートをはめ込む。
（プレートの上下を間違えないように確認してください。）



5　ルーバーの取り付け（本体が野縁、天吊り設置の場合）

①排気フィルターのツマミ(2か所)を「はずす」の方向に回し、排気フィルターをはずす。

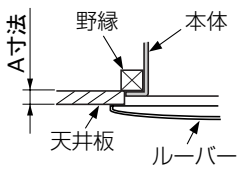


②下表を参照しながらA寸法にあうスペーサーを選択し、スペーサーを本体4隅の突起に挿入する。

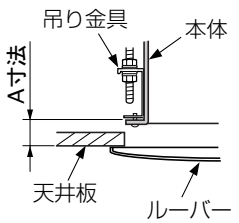
A寸法（右図参照）	スペーサー
9～9.5mm	25.5mm
12～12.5mm	28.5mm
24～25mm	41.0mm
0mm(天井直付の場合)	なし

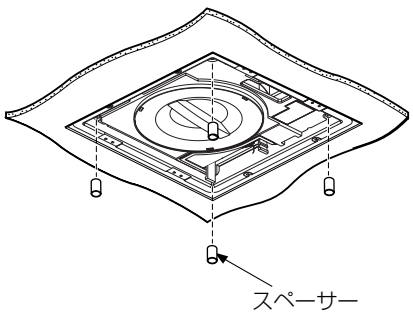
※上表以外をご使用される場合は、スペーサー（41.0mm）をカットしてご使用ください。
スペーサー長さ＝A寸法＋16mm
＜例＞A寸法が15mmの場合
スペーサー長さ=15mm+16mm=31mm
よって41.0mmのスペーサーを31mmにカッターナイフ等で切断する。

■野縁の場合



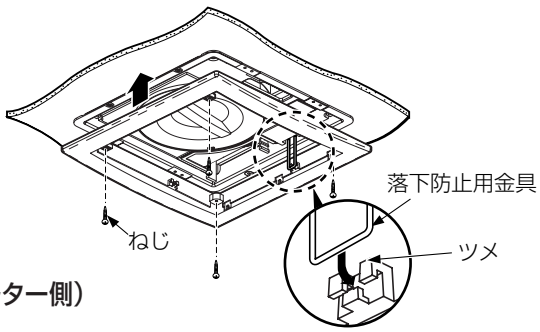
■吊り金具の場合



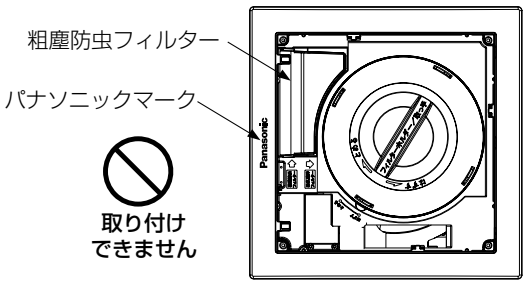


③本体の落下防止用金具にルーバーのツメを引っ掛け、天井とルーバーのすき間がなくなるまでねじ(ルーバー用 4個)で本体に固定する。

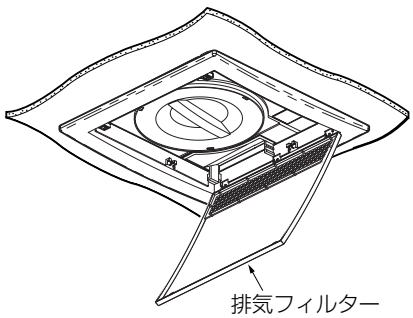
●電動ドライバーをご使用時は、最後の締め付けは手回しドライバーをご使用ください。
●締めすぎるとルーバーが変形します。



・ルーバーは3方向取り付け可能です。
逆方向の場合取り付けできません。
下図の場合は取り付けできません。
（ルーバーのパナソニックマークが粗塵防虫フィルター側）



④取り付けが終わりましたら、排気フィルターを元どおり取り付けてください。



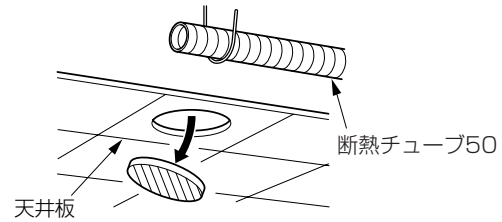
施工方法（続き）

■給気グリル（別売品）の取り付け

施工方法の詳細は、給気グリルの施工説明書をご参照ください。

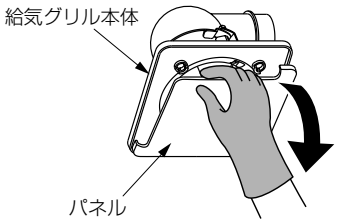
①給気グリルを取り付ける天井に φ110～120の穴をあける。

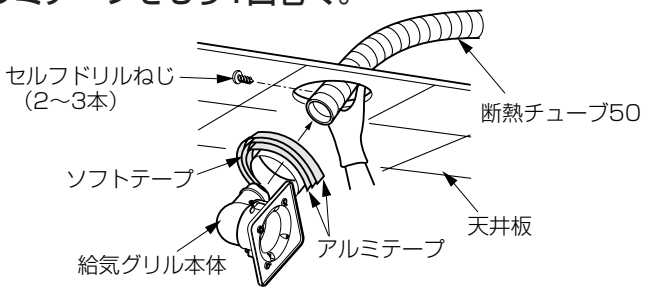
（穴あけは野縁など木枠から50mm以上離しておこなってください。）



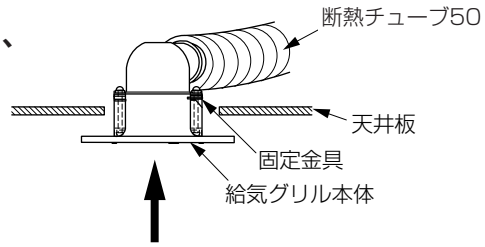
②あけた穴から断熱チューブ50を引き出しグリルを差し込み、セルフドリルねじで固定し、アルミテープ（市販品）とソフトテープを巻いて断熱する。ソフトテープがはがれるのを防ぐため、アルミテープをもう1回巻く。

●パネルを手前に引いてはずしてください。





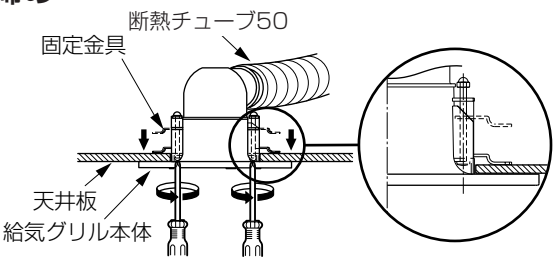
③固定金具を仮止めしているテープをはずし、あけた穴に差し込む。



④吹き出し方向を確認したあと、ねじを締めて給気グリルを天井板に固定する。

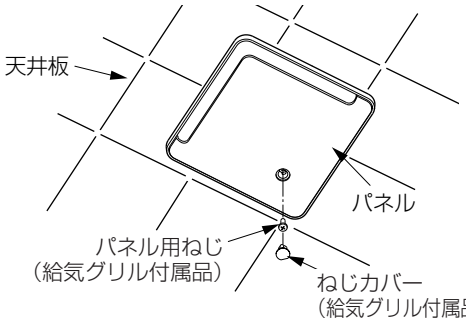
●電動ドライバーをご使用時は、最後の締め付けは手回しドライバーをご使用ください。

●吹き出し方向についての詳細は給気グリルの施工説明書をご参照ください。



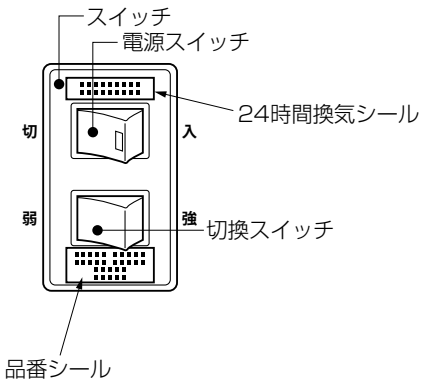
⑤パネルを取り付けたあと、パネル用ねじ（1個）でパネルを固定し、ねじカバーを取り付ける。

●パネル用ねじ、ねじカバーはなくさないようにしてください。



試運転

この工事説明書に従って結線や取り付けに異常がないか確かめて、付属の品番シールと24時間換気シールをスイッチまたはスイッチの近くに貼ってください。



電源スイッチ	切換スイッチ	動　作
入	強	通常の換気のとき。
	弱	換気量を少なくするとき。
切		停止するとき。

室内の空気環境を維持するため、お手入れのときなどを除き、強運転にて24時間連続換気でお使いください。

MEMO

MEMO

パナソニック株式会社
パナソニック エコシステムズ株式会社
〒486-8522　愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番　TEL(0568)81-1511
Ⓒ Panasonic Ecology Systems Co., Ltd. 2008

C24RZ4510C-P0405-3012